

Hirano

Senior High School

Attached to

Osaka Kyoiku University

大阪教育大学附属高等学校 平野校舎



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

平成27年度～31年度 文部科学省指定
スーパーグローバルハイスクール



World-Wide Learning High School of Japan

WWL 拠点校

令和2年度～4年度 文部科学省指定
ワールド・ワイド・ラーニングコンソーシアム構築支援事業・拠点校





未知の領域に怯まず、考え、行動し、飛躍する。

未知なるものに怯むことなく、出会いや刺激を糧に変えて、未来の設計図を描く。

平野校舎は、それを可能にする多彩なプログラムを提供します。3年後、きっと鮮明なロードマップが完成しているはずです。



Hirano's 3 Educational Policies

生涯にわたって活用できる能力や個性の育成を目指して、
3つの教育方針のもと、豊かな学びの環境を整えています。

少数精鋭

知的刺激を広げ、可能性を伸ばす。

1学年120名という学校規模は、真摯に勉学に打ち込める最適な学習環境です。教科の授業以外にも、WWL拠点校のプログラムや様々な学校行事、部活動など、一人ひとりが主役となり、また、本気になれる数多くのステージを用意しました。個性豊かな生徒たちが切磋琢磨するなか、それぞれの可能性を大きく伸ばします。

創造探究

課題と向き合い、未来型の思考・行動を高める。

「各界の第一人者による講義」「海外での研修や国際交流」「様々な研究手法を学びながら取り組む課題研究」…。WWL拠点校だからこそ実現するホンモノとの出会いと深い学びが、何事にも臆することなく解を求める探究心を育み、課題解決力や論理的思考力など、グローバル・リーダーに必要な「21世紀型能力」を高めます。

自主自立

自ら考え、仲間とともに目的を達成する。

学校行事のほとんどが生徒たちの手によって企画・運営されます。創立以来大切にされてきた「自主自立」の校風のもと、自分たちがーから立案したプログラムを完遂するため、全員で糸口を見つけて解決していく。そのような、チームで創りあげる行動力と、社会人として自立・自律する実践力を身につけます。

個を尊重する、 独自の教育プログラムの数々。

生徒一人ひとりの成長や好奇心に合わせて、カリキュラムを臨機応変に組み立てるとともに、将来性や個性を見極めて、きめ細やかな進路指導を行っています。

小規模校だからできる対応力で、生徒の成長をサポートします。



小規模校だから、 多様なニーズに対応できる

平野校舎の一番の特徴は、生徒・教師・保護者の距離が近いこと。1学年3クラスという小規模校のメリットをいかして、アットホームな雰囲気の中でも切磋琢磨しながら、勉学に励むことができます。教育熱心な教師陣が、一人ひとりの個性を伸ばす学習指導や進路指導を第一に考え、保護者とも連携しながら、個々の成長をしっかりサポートします。

知的好奇心に応える ハイレベルな授業

すべての教師は毎日の授業を大切にすることを重視し、基礎基本から難関大入試の対応まで、ハイレベルな授業を実施。毎時間のように電子黒板やタブレットなどを活用しながら、効果的・魅力的な授業を展開し、主体的、対話的な学び、そして深い学びへと導きます。また、毎月隔週土曜日は4限授業を行うほか、国・数・英では習熟度別授業や少人数制授業も導入。長期休暇や早朝・放課後、土曜日などにも基礎力充実・入試対策のための補習を開講しています。

21世紀型能力を追究するカリキュラム ■教育課程(令和4年度入学者)

1年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
共通	現代の国語		言語文化		地理総合		公共		数学Ⅰ				数学A		物理基礎		生物基礎		体育			芸術Ⅰ			英語 コミュニケーションⅠ		論理・表現Ⅰ		麟Ⅰ		丸の内 駅Ⅰ	生命 探究Ⅰ	キャリア 探究Ⅰ	LHR			
2年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
文系	論理国語		古典探究		文学国語		歴史総合		歴史探究		数学Ⅱ				数学B		化学基礎		体育			保健		英語 コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		丸の内 駅Ⅱ		家庭基礎		グローバル 探究Ⅱ		生命 探究Ⅱ	キャリア 探究Ⅱ	LHR	キャリア 探究Ⅱ (修習)
理系	論理国語		古典探究		歴史総合		歴史探究		数学Ⅱ				数学B		化学基礎		物理/ 生物		体育			保健		英語 コミュニケーションⅡ		論理・表現Ⅱ		丸の内 駅Ⅱ		家庭基礎		グローバル 探究Ⅱ		生命 探究Ⅱ	キャリア 探究Ⅱ	LHR	キャリア 探究Ⅱ (修習)
3年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
文系	論理国語		古典探究		文学国語		地歴公民①			地歴公民②			数学Ⅲ		数学演習β		文系理科①		文系理科②		体育			英語 コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		丸の内 駅Ⅲ		LHR		キャリア 探究Ⅲ (修習)				
理系	論理国語		古典探究		地歴公民①			数学Ⅲ		数学Ⅲ・ 数学演習β		数学演習α			化学			物理/生物			体育			英語 コミュニケーションⅢ			論理・表現Ⅲ		丸の内 駅Ⅲ		LHR		キャリア 探究Ⅲ (修習)				

■は学校設定科目です。WWL拠点校として「グローバル探究」において、国際的な課題に関する課題研究や英語運用力の育成等に取り組みます。



独自の教育で、 新しい大学入試に対応

ますます進展するグローバル化に対応して、新しい大学入試では、論理的な思考力や表現力、課題発見・課題解決力などが求められます。SGH指定時に実施してきた「専門家による授業」や「課題研究」を、WWLのGRAMとしてさらに発展。ディベートや討論、プレゼンテーション、論文作成など、多様な学習も一層充実させて、「21世紀型能力」をさらに高めています。

1年生から始まる、丁寧な進路指導

本校では、現役生の進路探しを卒業生が応援。1年では、各界で活躍する卒業生による「キャリアガイダンス」を、2年では、大学進学に向けて「学部・学科ガイダンス」を実施し、あわせて、卒業生の合格体験談や学習方法のアドバイスも聞くことができます。また、大阪大学や大阪教育大学等を訪問し、授業や実験などを体験できるカリキュラムも用意。学習のマイルストーンとして、各学年で校外模擬試験を受験する機会も設けています。

夢の実現に向けて、 進学後も伸びる力を

3年での「進路ガイダンス」は、生徒を対象にほぼ毎月、保護者を対象に年4回程度実施しています。大学進学後もさらに意欲的に学び、社会でも存分に活躍できるように、各大学・学部の特徴や実績もふまえながら、一人ひとりの志望や適性を第一に考えて指導します。

過去3年間の主な進学先

国公立大学など	東京大、京都大、北海道大、筑波大、一橋大、金沢大、信州大、滋賀大、滋賀医科大、京都教育大、京都工芸繊維大、京都府立大、京都府立医科大、大阪大、大阪教育大、大阪公立大、神戸市外国語大、神戸大、奈良教育大、和歌山大、岡山大、広島大、防衛医科大 など
私立大学	慶応大、早稲田大、上智大、中央大、東京理科大、明治大、金沢医科大、愛知医科大、京都薬科大、同志社大、立命館大、大阪医科薬科大、大阪歯科大、関西大、関西医科大、近畿大、関西学院大、甲南大、神戸薬科大、兵庫医科大 など

海外へ飛び出して、 21世紀型の探究心を育てる。

知識技能の習得だけでなく、豊かな感性・教養を育むこと、そして旺盛な好奇心を養うことで、世界を舞台に活躍できる人材へと成長することを目指します。

そのために使える英語力の養成や、国際交流を重視したカリキュラムを用意しています。



「ホンモノとの出会い」が、生徒を大きくする

本校では、大学・企業等で活躍する専門家の講義や、阪大生物学実習をはじめとする大学での実験・実習等、より高度な学びに参加する機会がたくさん用意されています。

さらに、タイ・カンボジア・ニュージーランドでの研修やオンラインツアー等、書籍や映像では得られない、海外での貴重な学びや体験を手に入れることが可能です。

ホンモノに出会い、刺激を受けることで、知的探究心を高め、確かな学力とたくましい人格の形成を実現します。

使える力を高める、英語教育

外国人教師3名を含む本校教師陣が、基礎基本の学習はもとより、ペアディスカッションやパラグラフライティング、即興型ディベートやプレゼンテーション、論文作成など、様々なスキルを高めるプログラムを用意。ICレコーダーや端末ソフトなども活用しながら、大学入試を突破する英語力と「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を高める授業を実施しています。

また、毎年GTECを受験し、3年間の英語力の伸びを継続して測定しています。

Voice

高校生パラメンタリーディベート世界交流大会でPOI賞を受賞

岡本 沙良武ハミッドさん（京都工芸繊維大学工学科学部）

第2回PDA高校生パラメンタリーディベート世界交流大会に出場しました。大会では、選抜された国内6チームと海外からの10チームが参加。同じ世代の人たちが3日間にわたって、自分の意見を積極的に英語で伝えあいました。ディベートのよい点は、どこの国や地域の人とでも英語を使って考えを共有し、自分の価値観を広げられるところです。これからも、一層、自分の考えを伝える力を高めていきたいとします。



国際交流を通して人間力を磨く

本校と協定を結ぶ、トリウムウドムスクサ高校（タイ）と高雄師範大学附属高級中学（台湾）。この2校の高校生と相互訪問やZoomでのやりとりを通して交流を深めています。

また、海外への留学についても積極的に応援。文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN」では高い合格率を誇り、平成28年度は3名、29年度は5名、30年度は4名、令和元年度は4名が、それぞれ自ら企画したプランをもとに海外に飛び出しています。



Voice

時間の使い方を工夫できる校風だから、 留学も充実した時間に

疋田 美麻里さん（関西医科大学医学科）



夏休みに、文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN」に合格しマレーシアに行きました。現地では英語学習だけでなく、友達を作り、自然に触れ、様々な食べ物を教えてもらい、いろんな国からの留学生たちと一緒に時を過ごすことで、人を思いやる気持ちや友達の大切さなどを学びました。わずか2週間でしたが、たくさんの経験ができたのは、自分で時間の使い方を工夫することのできる本校の環境があったからだと思います。

大学の研究活動で、 ディベートの経験が役立ちました

森瀬 敬之さん（京都大学薬学部）



ディベートの授業を通して、たった一つの論題でも様々な視点があることが分かり、ものの見方がずっと広がったように思います。このような経験は大学での研究活動にも役立つと感じています。高校までの理科の実験は予想通りの結果が得られることが多いですが、研究室の実験はそうならないことの方が多いのです。実験の結果が予想と異なったとき、その結果をどう解釈するかを考える上で、様々な視点から物事を考えることが必要になります。

生徒自らが企画・運営することで、 発想力や行動力を高める。

文化祭や体育祭、研修旅行、遠足などの行事を、生徒が主体となって企画から運営まで担当。協力しながら課題を解決することで、将来の社会生活にいきる実践力を習得していきます。

4 オリエンテーション合宿(1年)

クラス・学年の親睦と高校生活のオリエンテーションを目的に、2泊3日で実施。ハイキングやBBQ、クラス活動や学年レクリエーションなど、学年全員がすぐに仲良くなります。



5 海外研修旅行(2年)

4泊6日で2年生全員がタイを訪問。旅行委員が企画した行程にもとづいて観光や文化体験を行います。また諸施設への訪問や現地の高校生との交流も行います。



- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション合宿(1年)
- 遠足(2、3年)

- 球技大会
- 海外研修旅行(2年)

- 芸術鑑賞

- 終業式
- 沖縄伊平屋島体験学習(1年希望者)

- カンボジア研修(希望者)
- 始業式

- 文化祭

7 沖縄伊平屋島体験学習(1年希望者)

沖縄本島に近い離島の古民家に宿泊します。筏づくりやシークワサーを採ってのジュースづくり、ダイビングや海釣り、サイクリングなど、沖縄の自然や生活に浸りながら共同生活を乐めます。

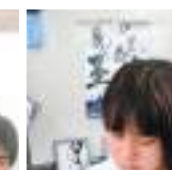
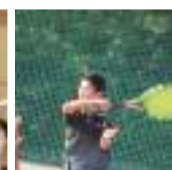
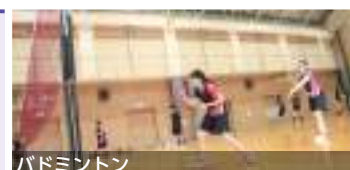


9 文化祭

テーマ設定から運営まで、すべてを生徒が企画して実行していきます。1年生の舞台発表をはじめ、各クラスの模擬店や飲食店、部活動、有志の発表など、生徒たちは毎年工夫を凝らして、文化祭を盛り上げていきます。



部活動



生徒を信頼して任せていただき、 楽しさ・やりがいを実感

松田 結莉愛さん(文化委員長)



文化委員会は主に文化祭を企画・運営し、私が率いる総務では、みんなが楽しめる文化祭にするために、いろいろな企画を考えます。大変ですが、先生が生徒を信頼して任せてくださいますので、楽しくてやりがいがあります。文化祭の1日目は舞台発表を、2日目は模擬店と飲食店を催します。それぞれに工夫が見られて楽しいです。

今後の学校生活や人生に活かせる、 最高の体育祭に!

大野 颯真さん(体育委員長)



本校の「行事で育つ」をモットーに、体育委員長として生徒全員が何かを掴み、今後の学校生活、人生に活かせるような最高の体育祭にしたいと思います。本校の体育祭には、伝統の応援団やクラスで協力して競うプログラムがたくさんあります。そこで団結力を培い達成感を感じられるよう、自分たちにしか作れない体育祭を盛り上げていきます!

- 体育祭

- スケート講習会(1年)
- 終業式
- 台湾交流
- 大阪大学生物学実習(希望者)

- 始業式
- 人権学習
- 球技大会
- 高校生国際会議

- 卒業式

- 終業式
- 台湾交流
- ニュージーランド研修(希望者)

10 体育祭

競技の決定、当日の運営などを体育委員会が中心となって行い、生徒たちで体育祭を創り上げていきます。伝統ある応援団の演舞やダンスの迫力には定評があります。自分たちで考えて行動することで、自主自立の力が育まれていきます。



少ない校則・自由な校風

平野校舎の生徒手帳には、校則の記載はわずかしかありません。創立以来、生徒一人ひとりが、自分を律しながら「校則のない学校」をつくりあげてきました。「ルールがあるから守る」のではなく、「ルールを設けずに自由な校風を維持する大切さ」を理解し、尊重し続けているからこそ、生徒同士で互いに高めあえる校風がつけられているのです。

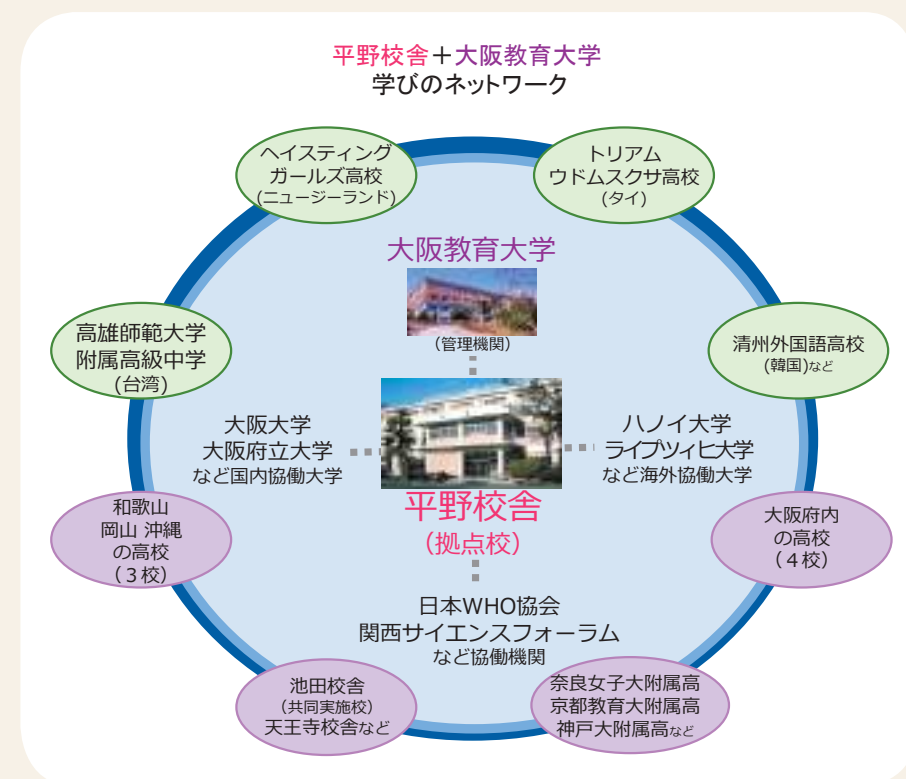


世界で活躍するグローバル・リーダーへ。

WWLの活動を通して、未来の世界と人類に向き合う、特別な3年間

WWLのテーマは、「世界で活躍できるイノベティブなグローバルリーダーの育成」。国内・海外の大学や高校、諸機関等が連携・協力する「ワールドワイドな学びのネットワーク」を形成し、ますます進展するグローバル社会で必要な、課題解決力や論理的思考力、実践力などを獲得します。

そのネットワークの拠点校として、たとえば、連携関係にある「大学等の授業受講」や「海外連携校等との共同学習」、「海外でのフィールドワーク・研修旅行」や「グローバルな課題に関する研究活動」など、一人ひとりの希望に沿った、選択可能な様々なプログラムが用意されています。



WWL拠点校とは

新たな社会をリードし、世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するため、スーパーグローバルハイスクールの取組みをさらに発展させながら、図のような、国内・海外の高校・大学・企業・国際機関等と連携したネットワーク(連携・協働関係)を形成し、高校生に高度な学びを提供するものです。

高校生国際会議の開催や、国内・海外の高校生との学び、協働大学の授業受講など、高校生へ高度な学びを提供します。

拠点となる高校は、現在、全国に28校指定されています。
(詳細は文科省のホームページを参照)

知識を獲得し活用するだけに留まらず、自ら考えを深めて主体的に提案し、実行する。

平野校舎WWLでは、そのような実践力を高めるため、一人ひとりの興味関心に沿った高度な学びと様々な体験を提供します。

思考力や実践力を重視した、平野校舎WWLの4つのプログラム

ホンモノを体験する「国内研修・海外研修」

世界を深く知るには、書物やインターネットでの情報収集だけではなく、実際に現地に行って話を聞き、調査することが重要です。本校では、タイ研修(2年全員)やカンボジア研修(1, 2年希望者)、ニュージーランド研修(1年希望者)を通して海外の現状を実感。また、本校と連携する海外・国内の高校生が集まる国際会議なども主催することで、ホンモノを体験します。



学びを深める「専門家の授業」や「大学の授業」

高校生のときに抱く興味関心は一人ひとりの将来に大きな影響を与えます。データをもとに論理的に考える「データサイエンス基礎」(1年)や、英語を用いて筋道立てて議論する「即興型英語ディベート」(2年)など、専門家が担当する本校独自の授業もカリキュラムに組み込まれています。さらに、希望者は、大阪大学の「データサイエンス」「グローバルヘルス(国際医療)」など、また大阪教育大学の「教師にまっすぐ」などを受講できます。



アジアの広いフィールドで実践する「グローバル探究」

何か一つにこだわり調査・研究を継続すること、収集した情報を論理的に考え、課題を解決していくことは、高校生の貴重な学びになっています。文系・理系の枠にとらわれず、興味関心あるグローバルな課題について、研究活動を進め、その成果はスライドプレゼンテーションやポスター発表など、様々な方法で発表します。多くの生徒は校内での発表を経て、全国的、国際的なセッションへと飛躍していきます。



「英語でのコミュニケーション」を楽しむプログラム

大阪教育大学の留学生と昼休みに英語で会話する「Lunch Time Chat」や、ワークショップを通して諸外国の社会や文化などを学ぶ「多文化理解講座」に参加できます。また、夏休みには、海外有名大学の大学院生と英語でディスカッションする「エンパワメントプログラム」も行われます。



1 年次

グローバル探究I

課題に迫り解決する意義と方法を学ぶ。

国内・海外の課題を自分自身の問題と捉え、グループごとにテーマを設定。研究の様々な手法を学びながら、フィールドワークや交流を通じて、研究を深めます。

2 年次

グローバル探究II

グローバルな視点から課題を追及する。

海外研修旅行などで得た様々な知見と、世界の人々との出会いから得た学びをもとに、様々なグローバル課題を追及。改善に向けた提案をまとめます。

1学期

2学期

3学期

1学期

2学期

3学期

課題発見のための講習会

現代の日本や世界には、どのような課題があり、なぜ問題になっているのか。大学や国際機関、企業、行政など、様々な分野の最先端で活躍する専門家の講義を聴き、その思いと、課題を発見して解決することの意義を学びます。



スキルアップ講習会

課題研究を進めるにあたり、研究の心構えについて学ぶほか、情報の集め方、思考の深め方、課題設定の方法、チームビルディング、フィールドワークの方法など、課題解決に必要なスキルを学習します。



大阪フィールドワーク

大阪周辺の様々な機関・施設に出向き、研究テーマに関する情報収集、聞き取り調査を行い、現場でしか分からないことを学びます。フィールドワーク後の報告会では、各グループの体験を共有しあい、さらに思考を深めていきます。



日常のグループでの研究活動

大学の先生や大学院生のアドバイスを受けながら、グループで研究を深めます。さらに、ジグソー法によるディスカッションをとおして、多面的に課題の本質について考えていきます。



国内外のWWL連携校との交流

平野校舎WWLの連携校の発表会やシンポジウムに参加する機会を設けています。同じ研究を進める国内・海外の高校生と交流し、意見交換することで、良い刺激を受け合うことができます。



海外からの留学生との交流

大阪教育大学や平野校舎に通う留学生との交流、夏休みに開催される海外有名大学・大学院生とのグループワーク、昼休みに大阪教育大学留学生と会話するLunch Time Chatなど、英語を楽しむ様々な機会が用意されています。



即興型英語ディベート

英語4技能を伸ばすことを目的に、大阪府立大学の中川智皓先生の協力のもと、英語の授業の中で即興型英語ディベートを実施。平成28年度、即興型英語ディベート世界交流大会では、本校生がPOI賞を受賞しています。



海外研修旅行：タイ王国

研究テーマに沿ったフィールドワークを行いながら、タイの社会や文化・風習を理解します。また協定校であるトリナムウドムスクサ高校との交流・ディスカッションにより、グローバルな課題についてさらに認識を深めます。



カンボジア研修

1、2年生の希望者が参加。カンボジア・シェムリアップを訪問し、課題研究のアクションプランを現地で実践することで、研究のさらなる深化を図ります。本校生が提案した医療に関する啓発活動が、実際に現地で活用されています。



文部科学省「高校生フォーラム」

全国のWWL校やSGH校の生徒が一堂に会する、文部科学省・筑波大学共催の「全国高校生フォーラム」に参加します。日頃の研究成果の発表や、グローバルな社会課題の解決や提案に向けた話し合いなどを行います。



高校生国際会議

国内だけでなく、台湾、タイ、韓国など海外の連携校も参加し、研究発表やディスカッション、ワークショップなどを行います。1年間の研究成果を披露するとともに、様々な国の高校生と一緒に議論し、交流する貴重な機会です。



WWL・SGH×探究甲子園

全国のWWLやSGH校から選抜されたチームが課題研究の成果を発表しあう大会で、大阪大学、関西学院大学、大阪教育大学が主催するイベントです。他にも、大阪大学や大阪市立大学等の発表会に参加しています。



Voice



国連での体験を通じ、実践的な英語の授業の重要性を実感

森田 花菜さん (第19代平和大使大阪代表、外務省・ユース非核特使、北海道大学工学部)

高校生平和大使の大阪代表として、昨年スイスのジュネーブにある欧州国連本部を訪問し、軍縮会議の傍聴や軍縮局で平和への思いを英語でスピーチしました。国連の公用語として英語を使う必要があり、英語を学ぶ大切さを実感しました。2年生で学ぶ英語のディベートは難しいですが、実践的で楽しい授業です。夏休みに参加する、英語のディベートの合宿も、とても楽しみにしています。

Voice



「世界津波の日」高校生サミットに参加して

森山 広暉さん (大阪公立大学医学部)

世界44か国の高校生たちと災害救護に対する考えを英語のみで交換し、たくさんの議論を行う、大変濃厚な二日間だったと思います。言葉の壁に苦労することもありましたが、多様性を受け入れつつ、皆で答えのない問題に取り組んでいくそのプロセスは非常に刺激的でした。参加者の一人として、多くの方々がこのサミットに参加され、災害に対する意識を向上されると共に、国際交流の先駆けとなられることを心から願ってやみません。

国内・海外に向けて、研究成果を発信。

広い視野と高い視座に立って、グローバルな課題を考察。
それぞれの進路選択・進路実現につなげます。

発信・考察

研究成果の発信と深い考察・進路実現に向けた取組

これまでの研究や経験で得た学びをもとに、グローバルな課題を広い視野と高い視座から考察します。
さらに、それぞれの進路実現に向けた発展的な学習に取り組んでいきます。



「世界津波の日」高校生サミット

国連で制定された「世界津波の日」の事業として開催された青少年国際会議に、津波対策を研究するグループが参加。「観光者でも安心して避難できる町づくり」について、世界約29カ国の高校生と意見交換をしました。



Column

母子手帳国際会議

母子手帳を研究するグループが、東京の国連大学で開催された「第10回母子手帳国際会議」に参加。シンポジウムでは、カメルーン、モンゴルなど多くの国における母子手帳に関する発表を聞き、その効果と課題について学びました。



研究成果の一つとして作成された小論文



Column

グローバル化が進む医療現場について学ぶ「大阪大学セミナー」

2年生の希望者を対象に、大阪大学で開講されている授業「健康・医療イノベーション学」をビデオで聴講します。このセミナーは、大阪大学医学部附属病院・国際医療センターの協力により実現したもので、海外での医療の様子や国際医療支援の現状など、各分野の専門家による講義を通して、グローバル化が進む医療現場を学ぶことができます。「医療・保健」の領域で課題研究に取り組んだり、医療への道を志す生徒などが受講しており、聴講後は本校の単位が認定されます。

Voice

アジアの貧困、医療などの課題に向き合い、対策を考える力が高められたと思います

森 瑞樹さん（大阪教育大学教育学部）

3年間の活動を通して、世界の諸問題を自分たちの力で発見し、対策を考える力が身についたと実感しています。例えば、地震対策に特化したインドネシアの街づくり研究やバンコクのクロントーイスラムでのフィールドワークを通じて、企業と政府が防災活動や貧困層への支援を積極的に行う必要性を感じました。また、カンボジアの水上生活者に虫歯罹患率が非常に高いことを知り、正しい医療知識の普及も肝要だと思いました。その第一歩として私たちができることは、世界で起きている様々な問題に関心をもつことだと考えます。

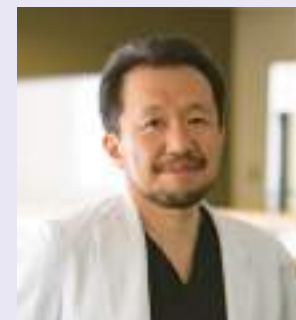


成長の基礎づくりから大きな飛躍へ。

高校時代に経験したことは貴重な心の礎となり、社会人になった時に、大きな飛躍につながっていきます。何を学び、どう今後活かしていくのか。OBのコメントから、重要なヒントが見えてきます。

優しさと自由な校風。

高校時代はあまり優秀な生徒ではなかった。数学で0点をとったことも、135人中132番になったこともある。漠然とミュージシャンになりたいと思っていたのだが、気がつけば卒業が迫っていた。とりあえず浪人した。それでも何とか医師になり、それなりに人様のために仕事ができているのは、多分、大阪教育大学附属高等学校の中でも平野校舎だけが持つ、自由で優しい校風があったからだと思う。僕が出会う同窓生は皆、渋いオンリーワンな仕事をしている。それが平野校舎なんだと思う。



荻田 和秀さん(10期生)
りんくう総合医療センター
産婦人科部長
(漫画「コウノドリ」のモデル)

人と人とのつながりが伝統であり、大きな財産です。

平野校舎の何よりの特徴は、小規模校であること。そのため、同級生はもとより前後の学年の人たちとの交流が盛んで、幅広く濃厚な人間関係を形成できました。このような人とのつながりが、平野校舎の伝統だと思います。私は医学部を卒業し、現在は大学病院で脳神経外科医をしていて、医学部に進学した多くの同級生などと幅広い交流があります。また医療以外でも様々な分野で活躍する友人たちとの交流も頻繁であり、大きな刺激を受けています。



貴島 晴彦さん(11期生)
大阪大学大学院医学研究科教授

自分のペースで過ごしたメリハリのある高校時代。

高校の成績は真ん中くらいでしたが、京都大学に現役合格し、その後助手、助教授を経て教授となり、内閣官房参与を歴任。現在ではテレビのニュース解説の仕事もしています。平野校舎の最大の特徴は、優秀な教師陣と京都大学にも通ずる自由な校風。自分のペースでメリハリある高校時代を過ごすことができ、何物にも代えがたい、とても素敵な時代でした。生徒数の少なさもあり、濃密な友人関係に恵まれ、今でも当時と変わらない交友関係が続いています。

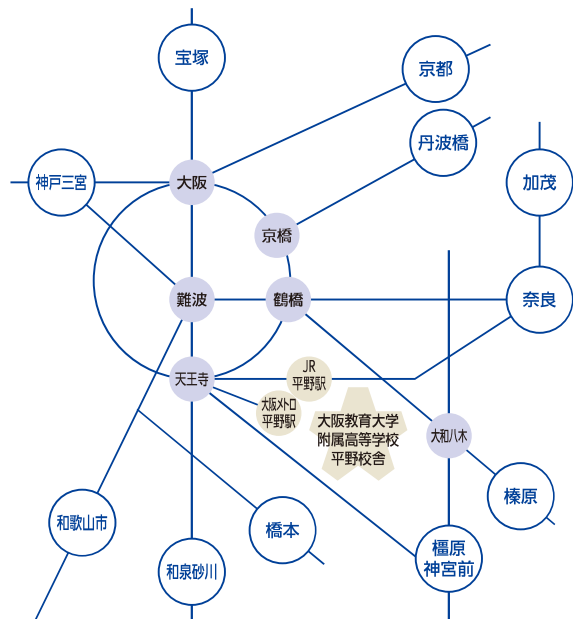


藤井 聡さん(13期生)
京都大学大学院工学研究科教授・
内閣官房参与を歴任



通学エリアイメージ

住居から90分以内で通えるエリアが通学範囲となっています。



所要時間の目安

JR奈良	約60分	JR大和路線			JR平野	徒歩約18分	大阪教育大学附属高等学校平野校舎
近鉄奈良	約65分	近鉄	大阪上本町	谷町九丁目	大阪メトロ谷町線 (14分)	大阪メトロ平野	
大和八木	約65分	近鉄					
阪神神戸三宮	約70分	阪神	梅田	大阪メトロ谷町線 (24分)		徒歩約5分	
JR三ノ宮	約65分	JR	JR大阪	東梅田			
宝塚	約70分	JR					
和泉砂川	約80分	JR					
和歌山市	約90分	南海	新今宮	JR	天王寺	大阪メトロ谷町線 (9分)	
橿原神宮前	約65分	近鉄		大阪阿部野橋			
							大阪メトロ谷町線 平野駅 南東 約400m

大阪教育大学附属高等学校 平野校舎

〒547-0032 大阪市平野区流町2丁目1番24号
 TEL:06-6707-5800 FAX:06-6709-1711
<http://hirano-h.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/>